



2019年1月8日

新型BMW R 1250 GS Adventure 発表

- 2018年12月に発売された新型BMW R 1250 GSのエンデューロ・モデル。
- 長距離走行を可能とする30L大容量燃料タンクを搭載。
- 可変バルブタイミング機構のBMW ShiftCamテクノロジーをBMWの量産二輪車で初採用した新開発水冷ボクサー・エンジンを搭載。

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長:ペーター・クロンシュナーブル)は、全面的に改良された新しいボクサー・エンジンを搭載し、高い走行安定性を実現した新型BMW R 1250 GS(アール・センニヒヤクゴジュウ・ジーエス)のライン・アップに新型BMW R 1250 GS Adventure(アドベンチャー)を加え、BMW Motorrad正規ディーラーにおいて、1月11日(金)より販売を開始する。

新型BMW R 1250 GSは、大幅に進化した水冷2気筒水平対向ボクサー・エンジンを搭載し、BMW ShiftCam(シフトカム)テクノロジーをBMWの量産二輪車として初めて採用するなど、幅広い回転域での安定した駆動力と、排出ガスや燃費の改善を実現したモデルとして、2018年12月に国内発売されたBMW Motorradの新型モデルである。BMW ShiftCamとは、5,000rpmを境として、低回転領域と高回転領域における吸気側のバルブタイミングを切り換え、混合気の充填効率を向上させる可変バルブタイミング機構のことである。これにより、低速時のコントロール性を向上させると共に、加速時には、アクセルをわずかに開けた瞬間から力強いトルクを発生させる。

今回発売される新型BMW R 1250 GS Adventureは、新型BMW R 1250 GSをベースにエンデューロ性能を強化したモデルであり、30Lの大容量燃料タンクと共に、ライダーの冒険心を刺激するモデルとなっている。GSのロゴが入ったブラックのストレージ・リッドや、インテーク・シユノーケルのトリム、メッキ加飾されたラジエーター・トリムに加え、エンジンとタンクを保護するプロテクション・バーを装備し、洗練された印象と共に、悪路での耐久性を確保している。さらに、大型のウインド・シールドや大容量タンクを搭載することで、ロング・ツーリングにも相応しい仕様となっている。

また、本モデルも他のモデルと同様に日本仕様はETC 2.0車載器を標準装備している。

メーカー希望小売価格(消費税込み)

モデル	エンジン	希望小売価格
BMW R 1250 GS Adventure	1,254cc 水冷式水平対向 2 気筒 100kW(136PS)/7,750rpm 143Nm/6,250rpm	¥2,675,000

■ 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。諸元値は、EU仕様参考値であり、国内仕様と異なる場合があります。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター：
フリーダイヤル 0120-269-437 をご掲載ください。
BMW Motorrad に関するお問い合わせ：9:00-18:00 土日祝日休み
BMW Motorrad インターネット・ウェブサイト： <http://www.bmw-motorrad.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは：
BMW Japan Corp. 広報室：03-6259-8026(製品広報)